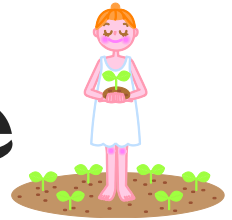


Only one

～ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ～



2023年3月

発行：能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne
Column

光る新人 ここが違うぜ！

能代市社会教育指導員 工藤 克弥

ある企業での話です。4月になると多くの新人が入社してきます。初めのうちは、みな張り切っていて何でもてきぱきと動きます。ところが、何ヶ月か過ぎると、仕事ぶりにだんだん差が出てきます。その中に、キラッと光る、いわゆる“使える若者たち”が現れてきます。

このことは、毎年見られる傾向なのですが、この「有望な新人たち」には、ある共通点がありました。何だと思いませんか？

実は、彼らはみな、子どものころ家の手伝いをよくやっていた人たちなのです。単なる偶然なのかもしれませんが、分かるような気がします。

私は、この手伝いという営みは、家庭が子どもに与えることのできる、とてもよい教育の場だと思っています。自分の教員生活を思い起こしても、家の手伝いを習慣にしている子どもたちは、作業をする際でもやはりどこか違っていました。大げさかもしれませんが、これから成長していく中で、とても大切になる力が育まれてきているように感じました。

では、手伝いをするすることで、子どもにとって、具体的にどんなプラス面が考えられるでしょうか。いくつか挙げてみましょう。

- 手伝いを継続することにより、持続力や責任感が育つ。
- 考えながら作業をすることにより、見通す力や試す力、工夫する力等が身に付く。
- 家族に認められることにより、自信がもてるようになり、自己有用感が育つ。
- 習慣化することで、家族の一員としての自覚と誇りが芽生える。

まだ他にもあるかもしれませんが、手伝いの中身によっては、さらに違った効果が期待できるかもしれませんね。

さて、みなさんのご家庭ではいかがでしょうか。今の子どもたちを見ていると、とても忙しそうです（実際、忙しいのですが）。でも、具体的な内容ややり方などを、子どもと話し合いながら、何かひとつ、手伝いにチャレンジさせてみてはいかがでしょうか。何も、完璧なものを目指す必要はありません。できることをできる範囲で、欲を言えば、子どもがちょっとでもやりがいや喜びを感じるようなものであれば、なおすばらしいですね。

考えてみれば、この「手伝い大作戦」は、もちろん子どもにとってのチャレンジの場ですが、同時に、子どもの様子を、見守る、励ます、認めるなどのかかわりが求められる、親御さんにとっても、ひとつのチャレンジの機会ととらえることができるのではないのでしょうか。

親子でチャレンジ！ 親子で成長！ いかがですか。



おすすめの1冊

能代市立能代図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。

990円のジーンズがつくられるのはなぜ？／著：長田 華子

労働環境が劣悪なままのバングラデシュ縫製産業で働く女性たち。彼女たちの経済状況と取り巻く社会や家庭内の様々な問題から世界の現実を伝える1冊です。1か月4,000円ほどで働く女性たちの生活からグローバル化した今の課題が見えてきます。

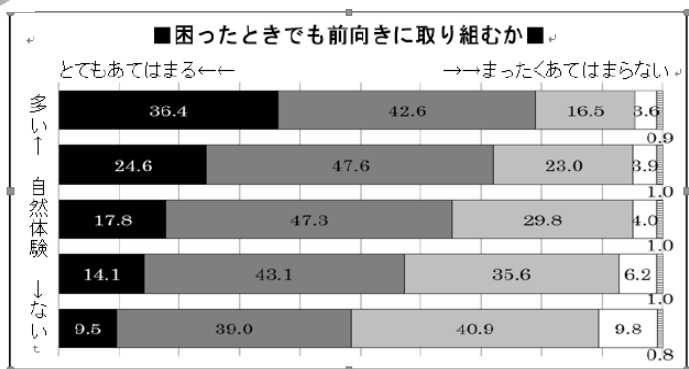


データでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータをとりあげます。「今」がわかり、子育てのヒントになるかも？

自然体験によって、子どものこういった面が育まれるのでしょうか？ 右の表は、自然体験の頻度と意識・習慣との関係を調べたものです。

自然体験を多く行っている子どもは、傾向として、「困ったときでも前向きに取り組む」「わからないことは、そのままにしないで調べる」など、課題解決に向き合う意識が高いという結果でした。



(独) 国立青少年教育振興機構 「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」報告書より



ひとつこと@家庭教育関係講座

秋田大学大学院 医学系研究科保健学専攻 基礎看護学講座 准教授 佐々木久長氏 「SNSとメンタルヘルス」より

『“ゲーム依存”は病気だと決まりました。皆さん病気の時、薬を飲みますよね。でも依存症に効く薬はまだありません。風邪を引いた時、気合いで治す人がいますよね。だけどWHOで病気だと決めただけは、気合いでは治らないということなのです。病気っていうことはゲームをする時間や頻度を自分でコントロールできないってこと。皆さんはコントロールできていますか？生活を振り返ってみましょう。』



困ったときには…

子育てで困ったときや、相談したいことがあるとき、下記の相談先へぜひご連絡ください。親身になってお答えいたします。

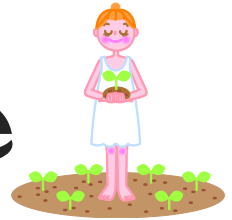
- 能代市子育て支援課 家庭児童相談 Tel: 89-2955
- めんchocoてらす Tel: 89-2948
- 能代市子育て支援センター Tel: 52-8115 (能代)
- : 73-3111 (二ツ井)
- 能代市教育相談 (風の子電話) Tel: 89-1616

乳児は 肌を はなすな
 幼児は 手を はなすな
 少年は 目を はなすな
 青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。
 能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 生涯学習係 〒018-3192 能代市二ツ井町字上台1-1
 TEL: 0185-73-5285 / FAX: 0185-73-6459 / E-mail: shou-supu@city.noshiro.lg.jp

Only one

～ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ～



2023年7月

発行：能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne
Column

何回言っても...

能代市社会教育指導員 工藤 克弥

「うちの子は、何回言っても、ちっとも言うことを聞かないんですよ。いったい、どうしたらいいんでしょうね。」

子どもがなかなか言うことを聞いてくれず、困っているお母さんの顔が浮かんできますね。みなさんのご家庭ではいかがですか。似たようなことはありませんか。

せっかく話しても、それが相手に伝わらなければ、何度繰り返して話しても結果は変わらないでしょう。

さて、ここで考えたいことは、言うことを聞かないことを、子どものせいだけにしていないかということです。言い換えるならば、親が子どもの心にしっかり響くような伝え方をしていたかということです。

親としては、子どもに「言うこと」が目的なのではなく、そのことを通して、子どもをよい方向に導くことが大事なことだったはずですよ。

一度話をしただけで、内容が子どもにしっかり伝わるようなことばかりだと、ずいぶん楽なことでしょう。でも、当然ながら、そんなケースばかりではないはずですよ。

やはり、目の前の子どもの成長段階や性格、伝えたい内容などに応じて、伝える側の大人に何らかの工夫が求められるのではないのでしょうか。

例えば、子どもに伝える際、問題を解決するために、具体的にどうしたらよいか一緒にやってみる。場合によっては、親が率先してやってみせる。また、子どもと話し合っただけでルールを決めるなど、様々な方法がありそうです。

ただ、ここで気をつけたいことは、一方的に親の考えを子どもに押しつけるのではなく、子どもの言い分にもよく耳を傾け、子ども自身が自分の問題として受け止めるようにすることです。要は、問題に対する子どもの意識を、少しでも前向きな方向に変えることが、子育ての視点から見ると、とても大事な着地点ではないかということです。

私もそうでしたが、大声（ド迫力）で子どもを叱ることで、子どもの行動を変えさせようとすることもあるかもしれませんが、確かにある程度の効果はあるかもしれませんが、この場合、子どもにしてみれば、ただ単に叱られるのが怖くて、行動をひかえているだけなのかもしれません。

繰り返しになりますが、望むべきは、大人の適切な働きかけによって子どもの意識が変わることです。

そのためにも、まず、子どもに対する親の意識を、これまでと少しだけでも変えながら子どもに向き合うことが、子育ての大切なポイントのひとつになると思うのですが。

おすすめの1冊

能代市立能代図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。



おこづかいの賢い使い方 / 作：クォン・ジェウォン 訳：わたなべなおこ

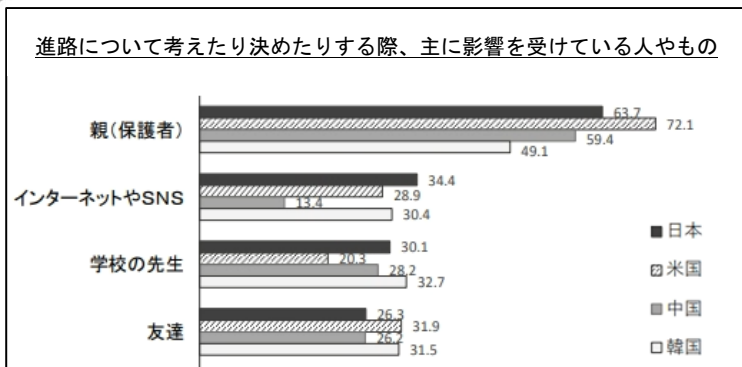
おとなだって、「買うか？買わないか？」しょっちゅう迷っている。だいじなお金なのに、使い方を失敗することだって、まだまだある。それくらい、むずかしくて、そして、とてもだいじなことだから、子どものときから経験をつんでおけたら、どんなにいいだろう！ いっしょに悩んで、たいせつなおこづかいを賢く使って、楽しく生きるための考え方をマスターしよう！

データでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータをとりあげます。「今」がわかり、子育てのヒントになるかも？

これは日本・米国・中国・韓国の学生を対象に「進路選択に影響を与える人やもの」を調査した結果です。日本では、親の影響が最も高く、次いでインターネットやSNS、学校の先生、友達と続くことがわかります。

家族団らんの時間をつくり、一緒に過ごす時間を大切にしましょう。



(独) 国立青少年教育振興機構

http://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/165/

ひとつこと@家庭教育関係講座

「早く〇〇しなさい」——つい、効率を優先して我が子を急ぎ立てていませんか？子どもには子どものペースがあり、一生懸命物事に取り組んでいるのです。「時計の長い針が6になるまでにごちそうさまできるかな？」と、子どもの力を信じて『待つ』ことが成長につながる大きなチャンスになります。そして、何事にも最後までやり遂げたら思いっきり褒めてください。



能代市社会教育指導員 工藤克弥 「5歳児親子相談」より

困ったときには…

子育てで困ったときや、相談したいことがあるとき、下記の相談先へぜひご連絡ください。親身になってお答えいたします。

- 能代市子育て支援課 家庭児童相談 TEL: 89-2955
- めんchocoでらす TEL: 89-2948
- 能代市子育て支援センター TEL: 52-8115 (能代)
- TEL: 73-3111 (二ツ井)
- 能代市教育相談(風の子電話) TEL: 89-1616

乳児は 肌を はなすな
 幼児は 手を はなすな
 少年は 目を はなすな
 青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。
 能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 生涯学習係 〒018-3192 能代市二ツ井町字上台1-1
 TEL: 0185-73-5285 / FAX: 0185-73-6459 / E-mail: shou-suppo@city.noshiro.lg.jp